



生きがいを持ち、充実した毎日を！

熊石生きがい学習塾開校式

5月13日に第8期「熊石生きがい学習塾」の開校式が熊石福祉センターで行われ、塾生として18人が出席しました。高齢者にふさわしい知識と教養を身につけ自らの生きがいを創設する場として「生きがいくくり」「健康づくり」「仲間づくり」など12月までに約10回の学習プログラムが予定されています。1回目の講座では保健師の指導で、グーパー体操や、一人じゃんけん、みんなで輪になって歌いながらリズムに合わせ肩をたたきあう「脳力アップ体操」を実践し、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

福祉の充実のために！

歌と踊りの交流発表会

歌や踊りなどでネットワークを広げ、交流を深めることを目的に4月21日、熊石福祉センターで熊石老人クラブ連合会・熊石カラオケ愛好会が合同で主催する「歌と踊りの交流発表会」が開催されました。歌や踊りなど趣向を凝らした36演目が披露され、来場した約100人から大きな拍手が送られていました。

また、受付では「福祉の充実のために」と書かれた募金箱を設置。来場した方に募金を呼びかけ、善意の募金が寄せられました。この募金は社会福祉協議会に寄付され、地域を支える福祉事業に役立てられます。



地域に根ざした施設をめざして

くまいし荘地域交流会

4月18日、特別養護老人ホームくまいし荘で、地域交流会が行われました。ホーム開設当初から、地域に根ざした施設を目指して、年に数回、入居者の方々と地域の皆さんとの交流会が行われています。今回は、関内地区の老人クラブ「関内宝友クラブ」の18名が老人ホームを訪問し、入居者と一緒に昼食のすき焼きに舌鼓。間もなく懐かしのメロディが次々と流れ、カラオケやビンゴゲームで楽しいひとときを過ごしていました。



事故に遭わないよう交通ルールを学ぶ！

相沼小学校交通安全教室

熊石地域の各小学校で交通安全教室が行われ、相沼小学校（大徳尚人校長、児童24名）では4月25日に、全校児童が参加して交通安全青空教室が開催されました。

八雲警察署相沼駐在所の戸草所長をはじめ、交通安全協会館平支部の関係者も出席し、横断歩道の歩行時の注意や、自転車についての交通ルールの徹底、点検整備の大切さを学びました。

